

再評価結果（令和6年度事業継続箇所）

担当課：道路局 環境安全・防災課
担当課長名：伊藤 高

事業名	重要物流道路 主要地方道 飯塚大野城線（乙金2工区）	事業区分	地方道	事業主体	福岡県	
起終点	自：福岡県糟屋郡宇美町貫船5丁目	至：大野城市乙金東2丁目	延長	0.8km		
事業概要						
<p>飯塚大野城線は、飯塚市を起点とし、糟屋郡須恵町、宇美町を經由して大野城市へ至る、福岡都市圏と飯塚地域を結ぶ延長約35kmの広域的な幹線道路である。</p> <p>宇美町から大野城市にかけては、沿線に複数の工業団地が立地しているが、本事業区間は、慢性的な交通渋滞が発生しているため、円滑な物流に支障をきたしている。また、交通量が多いにもかかわらず、幅員狭小で事業区間の約4割に歩道が未設置であるため、歩行者や自転車利用者の安全な通行空間が確保されていない。</p> <p>4車線化整備により、交通混雑が緩和され、定時性が確保されるため、物流の効率化による地域経済の活性化が図られるとともに、歩行者や自転車利用者の安全性が確保される。</p>						
H26年度事業化		H8年度都市計画決定		H28年度用地着手		
H31年度工事着手						
全体事業費	約35億円	事業進捗率	約75%	供用済延長	— km	
計画交通量	28,600～29,500台/日					
費用対効果分析結果	B/C (事業全体)	2.0	総費用 (残事業)/(事業全体)	7.2/37億円	総便益 (残事業)/(事業全体)	72/72億円
	(残事業)	10.0	事業費：6.2/36億円 維持管理費：1.1/1.1億円	走行時間短縮便益：62/62億円 走行経費減少便益：6.9/6.9億円 交通事故減少便益：3.2/3.2億円	基準年	令和5年
感度分析の結果						
<p>(事業全体) 交通量：B/C=1.8～2.2 (交通量±10%) (残事業) 交通量：B/C=9.0～11.0 (交通量±10%)</p> <p>事業費：B/C=1.9～2.0 (事業費±10%) 事業費：B/C=9.2～11.0 (事業費±10%)</p> <p>事業期間：B/C=1.9～2.1 (事業期間±20%) 事業期間：B/C=9.6～10.5 (事業期間±20%)</p>						
事業の効果等						
<ul style="list-style-type: none"> ・交通容量の拡大により、交通混雑の緩和が図られる。 ・沿線の工業団地からの太宰府ICへのアクセス強化、定時性の確保により、物流の効率化による地域経済の活性化が期待される。 ・歩行者・自転者利用者の安全性が確保される。 						
関係する地方公共団体等の意見						
・地元自治体から早期の完成要望が行われている。						
事業評価監視委員会の意見						
事業継続を妥当と認める。						
事業採択時より再評価実施までの周辺環境変化等						
周辺環境等に特に変化はない。						
事業の進捗状況、残事業の内容等						
用地取得率約85%、事業進捗率約75%						
事業の進捗が順調でない理由、今後の事業の見通し等						
残る用地の取得を継続しており、今後は早期完了を目指し、道路改良工事を推進していく。						
施設の構造や工法の変更等						
・土留め工の一部を擁壁から法面に変更したことによりコストが縮減されている。						
対応方針	事業継続					
対応方針決定の理由	事業の必要性、重要性は変化なく、費用対効果が十分に認められる事業である。					

